

津軽森林管理署金木支署の採材現地検討会に参加

令和8年7月31日(金)、青森県五所川原市の飯詰山国有林野内において津軽森林管理署金木支署主催による採材現地検討会が開催され、青森事務所から職員2名が参加しました。当日は朝まで雨模様でしたが開会時には曇り空となり、林業関係団体や林業事業者など36名の参加者を得て開催されました。金木支署長代理の挨拶後に支署担当者から配布資料の内容について説明が行われ、続いて青森事務所から東北森林管理局管内の木材需要動向について、今年度の委託販売・システム販売の状況、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項等について説明しました。

説明終了後、4班に分かれて早速採材の検討に移りました。



開会式の様子



4班に分かれ採材検討

今回は、スギの曲がりなどの欠点を再点検することを目的に4m丸太10本と全幹1本の供試木が会場に準備され、曲がりや腐れなど確認し採材を検討。各班から検討結果を発表していただいたあと、青森県森林組合連合会担当者から講評をいただくとともに、採材に当たっての留意点等についても情報提供いただきました。また、支署担当者から林地残材を少なくして歩留まり向上につなげる採材についての説明もあり、参加者の認識を深めることができた有意義な1日となりました。最後に、当事務所から講評と労働安全等についてお話をいただき、検討会は無事終了となりました。

青森事務所では、今後も各署等で開催される採材現地検討会等に積極的に参加し、国有林材の有効利用や労働災害の未然防止に貢献したいと考えています。



検討結果の講評



労働災害未然防止に向け指導